

【地域医療プログラム】(2年目; 必修4週間、選択)

概要

本プログラムは2年間の初期研修プログラムの中で、必修科目として2年目に行う研修プログラムである。それ以前に得られた知識をもとに、医師としての人間性をより深く広い知識と技術とするための研修としたい。1カ月で目標を達成することを目指している。
又、限られた医療資源の中で、地域自治体等の保健活動や地域包括ケアの重要性を認識し、医師の役割について地域に身を置いて実践型にの地域研修を行う。

1. 一般目標 (General Instructional Objective: GIO)

生涯にわたる、患者中心で高度・良質なプライマリケアの提供ができるようになるために、病診連携の概念を理解するとともに、実際の診療所での診療、往診、訪問看護ステーションでの業務、また中小病院での地域医療などを経験し、基本的診察・検査・手技。治療法・医療記録記載のやり方に精通し、医療人として必要な基本姿勢や態度を体得する。

2. 行動目標 (Specific Behavioral Objectives: SBOs)

1) 患者－医師関係

- a、利用者および関係者のニーズを理解し、良好な人間関係を確立する。
- b・守秘義務を果たし、プライバシーへの配慮ができる。

2) チーム医療

- a、各施設での各スタッフの役割を理解する。

3) 問題対応能力

- a・病状に応じた病院へのコンサルテーションを実践できる。
- b・在宅療養の問題点を挙げ、その対策を立てる。
- c・健康診断の結果を受診者に説明し、今後の計画を指示できる。

4) 安全管理

- a、研修施設での安全対策を理解し、実践できる。

5) 診療

- a・研修施設で行われている診察・検査・手技を実践できる。
- b・往診の適応と診療範囲を理解する。

6) 医療の社会性

- a、介護保険の仕組みを理解する。
- b・医療保険・公費負担医療を理解する。

7) 診察法

視診、触診、打診、聴診法を学ぶ。(内科一般外来を週3日、半日担当し、問診から診断までのアセスメントを学ぶ)

3. 経験目標

経験目標については可能な限り経験するものとする。

- 1) 根拠法令に基づいた地域保険活動を理解する。
- 2) 在宅医療を行っている患者の、診療計画を立案できる。
- 3) 退院準備段階に入った患者を受け持ち、地域と連携している。
- 4) 地域の医療・保健・福祉資源に関する知識を習得する。

4. L S 方 略

研修期間: 4週間以上

各地域における研修病院の役割を理解して、入院、外来、在宅基幹病院では学べない医療機関の関わりを学ぶ。

研修施設: 医療法人かがやき 総合在宅医療クリニック

岐阜県北西部地域医療センター

郡上市民病院

社会医療法人白鳳会 鷺見病院

美濃市立美濃病院

5. EV 研修の評価

研修プログラム・指導体制の評価

- ①研修医が研修管理委員会にて意見要望を述べる。
- ②EPOC内のプログラム評価記入を検証して、臨床研修管理委員会通じてフィードバックする。

- ③年1回の無記名アンケートを行い、各診療科、施設での研修の評価と研修全般に関しての意見、要望を収集し、研修管理委員会に報告審理し、必要に応じてフィードバックする。
- ④EPOC、研修医手帳を用いて指導医・指導体制を評価する。

共通項目：初期研修中のアルバイトは禁止。